

8. 多摩川及び鶴見川水系における魚類分布の調査研究（第2報）

Study of the Distribution of Fishes of the Tama River and the Tsurumi River. (II)

松 尾 清 孝 Kiyotaka MATSUO
平 山 南見子 Namiko HIRAYAMA
山 田 茂 Shigeru YAMADA

1. は じ め に

生物による水質調査として、1977年から毎年、付着藻類、底生動物及び魚類調査を多摩川及び鶴見川水系について行っており、その結果についてはすでに報告した。¹⁾

今年度は昨年度に引き続き多摩川及び鶴見川水系について魚類分布調査を行った。今回の調査地点は前回と同じ地点にさらに川崎市内河川について数地点を追加し、各地点における変化を調べた。又前回調査を行わなかった多摩川上流域については市内河川との比較のため新たに調査を行った。

2. 調査期日及び調査地点

調査は1981年6月中旬（アユ開禁後）より8月下旬まで行った。

調査地点は図1に示すように多摩川水系23地点、鶴見川水系7地点の計30地点である。河川名と調査地点名は表1に示した。今回新たに追加した調査地点はSt.1海沢、St.2調布橋、St.3永田橋、St.8宇奈根、St.12東橋、St.17円筒分水、St.18円筒分水下流、及びSt.24岡上の8地点である。調査地点1～11は多摩川本川、調査地点12～23は多摩川水系の支川、調査地点24～30が鶴見川上流及び支川である。

3. 調 査 方 法

魚類の採取方法は前報とほぼ同様で、投網（11.5×11.5mm目）によって魚を捕獲した。なお河川の状況により投網が打てなかった4地点（St.12、St.18、St.27、St.28）ではたも網（0.49×0.49mm目）を用いた。また10地点において（St.3～5、St.14、St.17、St.22～24、St.25、St.29）投網とたも網を併用した。投網は1地点で1～30回行い、たも網の場合は約50mの流程において採集を行った。

魚類の分類は前回と同様に行ったが、フナについては鰓耙数と腸の形から種の分類を試みた。²⁾

4. 調査結果および考察

表1に採取当日の環境要因をまとめた。

4・1 出現魚種

今回の調査で淡水魚19種、汽水あるいは海水魚4種、計23種の魚類と甲殻類4種を捕獲した。

表2に各地点ごとに出現した魚を示した。なお多摩川では毎年魚の放流（主に稚魚）がかなり行われているので表3に1981年度の放流状況例を挙げた。

(1) 多摩川本川上流域

St.1（海沢） 今回新たに調査を行った地点でウグイが多く、ついでヤマメ、アユがみられた。

St.2（調布橋） この地点も新たに調査を行った地点でSt.1と同様、ウグイが多く、ヤマメ、アユがみられた。ヤマメが捕獲されたのは今回の調査においてはこれら2つの地点のみであった。

(2) 多摩川本川中流域

St.3（永田橋） 羽村堰より少し下流にあり、今回新たに調査を行った。ウグイ、アユの他にアブラハヤ、ギンブナ、アメリカザリガニがみられた。

St.4（拝島橋） たも網により捕獲したスジエビが30%以上を占めた。ついでオイカワが多くみられ、アユ、タモロコ、ウグイ、ギンブナ、ゲンゴロウブナ、ドジョウ、ホトケドジョウ、ナマズなどいろいろな種類の魚種がみられた。なお前回はオイカワが最も多かった地点である。

St.5（日野橋） 前回同様オイカワが最も多かった。またモツゴもこの地点から下流でみられるようになる。

St.6（是政橋） 前回同様オイカワが最も多かった。

St.7（上河原堰下） 前回同様オイカワが最も多かった。

St.8（宇奈根） 今回新たに調査を行った地点で他の中流域の地点と同様、オイカワが最も多かった。

St.9（二子橋） 前回はモツゴがオイカワより少し多かったが、今回はオイカワがモツゴより著しく多かった。

(3) 多摩川本川下流域

St.10（丸子橋堰下） 感潮域で前回とほぼ同様、ボウが多かった。

St.11（多摩川河口） マハゼ、スズキ、ドンコなど汽水あるいは海水魚がみられた。前回みられたカレイ、コノシロ、サッパなどは捕獲されなかった。

(4) 多摩川水系支川

多摩川水系支川では全体的にみると前回同様平瀬川末端でオイカワが多く、その他の地点ではフナ、コイ、モツゴ、アメリカザリガニがみられた。

St.12（三沢川，東橋） 新しい調査地点で近辺は現在開発が進められている。モツゴとアメリカザリガニがわずかにみられた。

St.13（三沢川，新指月橋） 前回とほぼ同様フナが多かった。

St.14（二ヶ領本川，旧三沢川合流） 前回はモツゴが多く、フナ、オイカワがみられたが、今回はアメリカザリガニが多く、ついでフナ、コイ、モツゴ、メダカがみられ、オイカワはみられなかった。

St.15（二ヶ領本川，徒橋） 前回とほぼ同じでフナが多かった。

St.16（二ヶ領本川，豊年橋） 前回はアメリカザリガニがみられたが、調査地点の河川改修

により両岸がコンクリート壁になったためか、何も捕獲できなかった。

St.17(二ヶ領本川, 円筒分水) 今回新しく調査した地点である。付近の人によると魚影がみられることもあるという話だったが、アメリカザリガニのみが捕獲された。

St.18(二ヶ領本川, 円筒分水下流) St.17と同様の状況で、アメリカザリガニのみがみられた。

St.19(五反田川, 生田大橋) 前回はフナが捕獲されたが、今回は魚類の捕獲はできなかった。

St.20(二ヶ領宿河原用水, 新船島橋) 前回と同様フナ, コイ, モツゴがみられた。

St.21(二ヶ領宿河原用水, 宿河原橋) 前回はフナ, キンギョがみられたが、今回は魚類の捕獲はできなかった。

St.22(平瀬川, 中之橋) 前回同様, フナ, コイなどがみられた。

St.23(平瀬川, 平瀬橋) 前回と同様にオイカワが多かった。この地点は平瀬川が多摩川本川に合流する地点で本川の影響が大きいと考えられたため、今回は300m程上流に調査地点を移し調査したが、前回と同様オイカワが多いという結果が得られた。

(5) 鶴見川上流域(谷本川)

St.24(谷本川, 岡上) 川崎市内における谷本川の最上流域にあたり、今回新たに調査地点に加えた。オイカワが多くみられた。

St.25(谷本川, 恩廻橋) 前回同様オイカワが多かった。

St.26(谷本川, 寺家橋) 前回はオイカワ, フナが多かったが、今回はオイカワ, モツゴが多かった。

(6) 鶴見川上流域支川

St.27(片平川, 仲町橋) 前回はアメリカザリガニとカダヤシがいたが、今回は何も捕獲できなかった。

St.28(麻生川, 金耕橋) 麻生川の源流に近い地点で前回に比べ近辺の開発が著しく進んでいた。そのため比較的きれいな水域に生息するといわれているホトケドジョウは姿を消し、今回はドジョウ及びアメリカザリガニのみが捕獲された。

St.29(麻生川, 中野橋) 前回と同様ドジョウ, アメリカザリガニ, フナ, モツゴがみられ、新たにヨシノボリ, ブルーギルが捕獲されオイカワは姿を消した。

(7) 鶴見川下流域支川

St.30(矢上川, 矢上川橋) ここは水質が著しく汚濁されている地点で、前回同様フナがわずかに捕獲されたのみであった。

4.2 魚種組成と水質汚濁度

今回も水質汚濁度との関連をみるために魚類分布調査結果から魚種組成率を作成し、表4に示す方法^{3), 4)}を用いて分布タイプ別に分類を試みた。(図2)

なお今回の調査ではたも網による捕獲を行わなかった地点があるため、たも網による捕獲数は魚種組成率の計算から除外した。

図2からわかるように多摩川上流域のSt.1海沢とSt.2調布橋及び中流域のSt.3永田橋までがA(貧汚濁域)に相当していた。St.4拝島橋からSt.9二子橋までの多摩川中流域と支川のSt.23平瀬川、平瀬橋及び鶴見川上流(谷本川)ではB₁(弱・中汚濁域)であった。またSt.9多摩川、二子橋及びSt.26谷本川(鶴見川)、寺家橋では前回はB₂(強・中汚濁域)に相当していたが、今回はB₁(弱・中汚濁域)となった。一方多摩川と鶴見川の各支川はほとんどがCに相当する水域(強汚濁域)であった。

5. 総 括

- (1) 1980年度に引き続き多摩川水系23地点、鶴見川水系7地点の計30地点について魚類分布調査を行った。
- (2) 淡水魚19種、汽水あるいは海水魚4種甲殻類4種を捕獲した。出現魚種は多摩川本川上流域でウグイが、多摩川本川中流域と鶴見川上流(谷本川)でオイカワが、多摩川と鶴見川の各支川ではフナとアメリカザリガニが多く、前回とほぼ同様の傾向がみられた。
- (3) 魚種組成率から分布形態の区分を行い、水質汚濁度を推察した。それによると多摩川本川上流域及び永田橋はA、(貧汚濁域)、多摩川本川中流域、鶴見川上流の谷本川及び平瀬川末端がB₁(弱・中汚濁域)、多摩川と鶴見川の各支川はほとんどC、(強汚濁域)に区分された。

今回の魚類調査にあたり、魚の同定について御指導いただきました川崎市水道局の橋本徳蔵氏と、魚の採集にあたり便宜をはかって下さった川崎河川漁業協同組合、多摩川漁業協同組合、秋川漁業協同組合及び奥多摩漁業協同組合の方々に感謝致します。

参 考 文 献

- 1) 松尾清孝他(1977~1980) 川崎市公害研究所年報, 5~8.
- 2) 宮地傳三郎他(1980) 原色日本淡水魚類図鑑 P.201, 保育社, 大阪.
- 3) 東京都水産試験場 (1974) 多摩川の魚類生態調査-I P.6 建設省工事事務所
- 4) 東京都水産試験場 (1975) 多摩川の魚類生態調査-II PP.87~91, P.116 建設省工事事務所

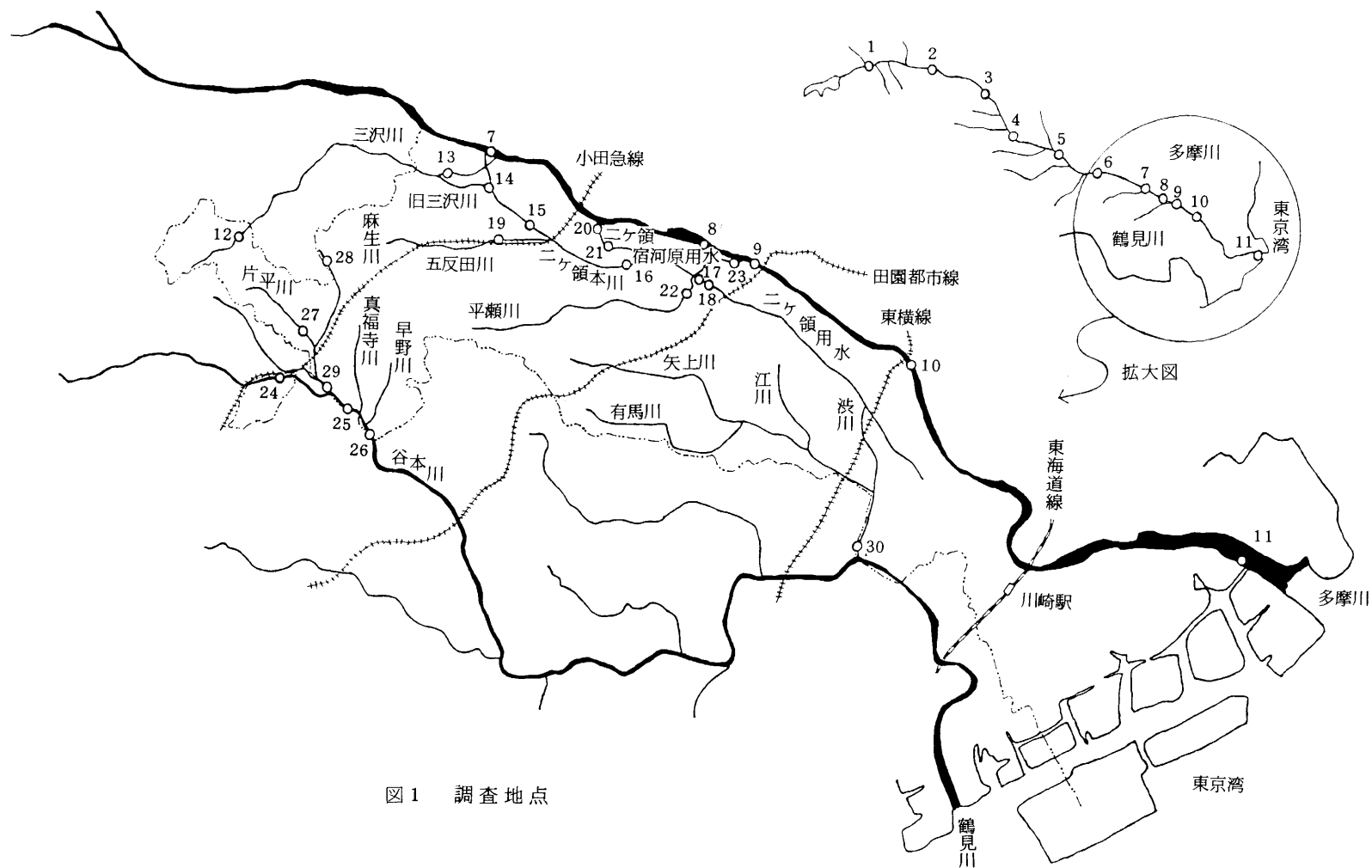


表1 環 境 要 因

水系	河川名	地点番号	地点名	採取月日	水温(℃)	pH	流速(cm/sec)	水深(cm)	透視度(cm)	河床構造
多摩川本川	多摩川	1	海沢	8/21	17.0	8.2	200	50	50以上	石・砂利
	"	2	調布橋	8/21	14.0	7.6	48	65	"	石・砂利
	"	3	永田橋	8/21	19.0	7.4	62	50	"	石
	"	4	拝島橋	8/14	21.5	7.3	28	55	"	砂利
	"	5	日野橋	8/14	23.5	7.4	67	60	"	砂利
	"	6	是政橋	8/14	24.0	7.2	28	30	"	砂利・大石
	"	7	上河原堰下	6/15	19.5	7.1	17	70	"	砂利
	"	8	宇奈根	6/19	21.6	7.4	24	45	"	砂利・石
	"	9	二子橋	6/26	21.8	7.3	62	50	"	石
	"	10	丸子橋堰下	7/13	29.2	7.8	0	150	—	粘土・砂
	"	11	多摩川河口	7/13	27.4	—	—	85	—	砂
多摩川水系支川	三沢川	12	東橋	8/10	—	8.4	22	15	—	砂利・コンクリート
	"	13	新指月橋	6/15	20.3	7.1	42	130	50以上	泥
	二ヶ領本川	14	旧三沢川合流	6/15	14.6	7.0	45	60	25	ヘドロ・水草
	"	15	徒橋	6/15	19.2	7.0	28	50	34	砂・泥
	"	16	豊年橋	6/19	19.0	7.2	48	55	50以上	粘土
	"	17	円筒分水	6/26	—	—	—	40	—	砂
	"	18	円筒分水下流	6/26	20.0	7.2	42	45	50以上	泥
	五反田川	19	生田大橋	6/19	18.7	7.3	11	115	28	砂利・土
	二ヶ領宿河原用水	20	新船島橋	6/19	20.5	7.5	42	43	31	泥・石
	"	21	宿河原橋	6/19	20.4	7.1	45	40	37	ヘドロ
	平瀬川	22	中之橋	6/26	20.6	7.2	45	90	39	小石・ヘドロ
鶴見川及び支川	"	23	平瀬橋	6/26	20.5	7.1	30	100	45	砂利
	谷本川(鶴見川)	24	岡上	6/30	21.2	7.3	57	70	50以上	石・砂
	"	25	恩廻橋	6/30	25.0	7.5	32	50	"	岩盤
	"	26	寺家橋	6/30	25.0	7.6	17	60	"	コンクリート
	片平川	27	仲町橋	8/10	—	—	—	10	—	コンクリート
	麻生川	28	金耕橋	8/10	—	7.3	24	7	—	コンクリート・泥
	"	29	中野橋	6/30	23.3	7.5	40	12	50以上	岩盤
	矢上川	30	矢上川橋	7/13	28.5	7.1	17	100	—	ヘドロ

表2 出現魚種

水 系	多 摩 川 本 川											多 摩 川 系 支 川											鶴 見 川 及 び 支 川							
河 川 名	多 摩 川											三 沢 川		二 本 ヶ 領 川				五 反 田 川	二 河 ヶ 原 用 宿 水		平 瀬 川		谷（鶴見川） 本 川		片 平 川	麻 生 川		矢 上 川		
地 点 番 号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
調 査 地 点	海 沢	調 布 橋	永 田 橋	拝 島 橋	日 野 橋	是 政 橋	上 河 原 堰 下	宇 奈 根	二 子 橋	丸 子 橋 堰 下	多 摩 川 河 口	東 橋	新 指 月 橋	旧 合 三 沢 川 流	徒 橋	豊 年 橋	円 筒 分 水	円 筒 分 水 下 流	生 田 大 橋	新 船 島 橋	宿 河 原 橋	中 之 橋	平 瀬 橋	岡 上	恩 廻 橋	寺 家 橋	仲 町 橋	金 耕 橋	中 野 橋	矢 上 川 橋
ヤ マ メ	○	○																												
ア ユ	○	○	○	○	○		○	○	○																					
タ モ ロ コ				○	○	○	○																			○				
カ マ ツ カ																									○					
モ ツ ゴ					○	○	○		○	○		○		○						○			○		○	◎			◎	
ウ グ イ	◎	◎	◎	○			○	○													○									
ア ブ ラ ハ ヤ			○																											
オ イ カ ワ				○	◎	◎	◎	◎	◎														◎	◎	◎	◎				
ハ ス							○																							
キ ン ブ ナ					○	○							○		○					○		○	○			○				○
ギ ン ブ ナ			○	○	○	○	○	○		○			◎	○	◎					◎		◎	○	○					○	◎
ゲ ン ゴ ロ ウ ブ ナ				○	○	○				○											◎		◎	○	○					
キ ン ギ ョ										○													○							
コ イ						○				○				○	○					○		○								
ニ シ キ ゴ イ																								○						
ド ジ ョ ウ				○																				○	○			◎	○	
ホ ト ケ ド ジ ョ ウ				○																										
ナ マ ズ				○																										
メ ダ カ														○									○							
ボ ラ										◎																				
ス ズ キ											○																			
ド ン コ											○																			
ヨ シ ノ ボ リ																													○	
マ ハ ゼ										○	◎																			
ブ ル ー ギ ル																													○	
ス ジ エ ビ				◎	○	○																								
テ ナ ガ エ ビ							○																							
ア メ リ カ ザ リ ガ ニ			○		○							◎		◎				◎	◎		○				○			○	○	
ゲ フ サ ガ ニ										○																				

◎捕獲数の30%以上を占めた魚
○捕獲数が30%以下だった魚

表3 多摩川および鶴見川水系における魚の放流状況例（1981年度）

放 流 者	魚 の 種 類 (主に稚魚)	尾数もしくは重量 千尾 kg	放 流 地 点	備 考
奥多摩漁業 協同組合	ヤマメ ヤマメ※ アユ マゴイ ウグイ	120 6 2,100 60	小河内ダム下流 500m ～羽村堰	人工産卵所 11 ケ所
秋川漁業 協同組合	ヤマメ ヤマメ※ マス アユ マゴイ 色ゴイ マブナ ウナギ ウグイ	150 2 135 840 60 10 30 150	秋川 (多摩川支川)	人工産卵所 63 ケ所
多摩川漁業 協同組合	ヤマメ ニジマス アユ コイ フナ ウナギ	30 20 300 360 405 30	拝島橋 ～ガス橋 (ヤマメ及びニジ マスは支川の 浅川)	
川崎河川漁業 協同組合	アユ コイ ヘラブナ ウナギ ウグイ	50 4,100 2,100 40 500	稲田堤 ～丸子橋	
ふるさと 多摩の会	コイ	10	川崎市多摩区内 二ヶ領用水, 五反田 川, 鶴見川, 麻生川	

※成魚（その他は稚魚）

表4 魚種組成と水質汚濁度

- A : ウグイが優占種または優位種となっている区域, ヤマメ, カジカが少しこれに加わる。
貧汚濁性に対応する。
- B₁ : オイカワが優占種または優位種となっている区域, モツゴ, タモロコ, フナ類がこれ
に少し加わる。 弱・中汚濁性に対応する。
- B₂ : オイカワ, モツゴ, タモロコ, フナ類が混在して優位種となっている区域, 単独種の
優占性は認められない。 強・中汚濁性に対応する。
- C : フナ類が優占種または優位種となっている区域, コイ, モツゴ, タモロコがフナ類に
次いで多い。 強汚濁性に対応する。

水系	河川名	地点番号	地点名	魚種組成	タイプ区分
多摩川 本川	多摩川	1	海沢		A
	"	2	調布橋		A
	"	3	永田橋		A
	"	4	拝島橋		B ₁
	"	5	日野橋		B ₁
	"	6	是政橋		B ₁
	"	7	上河原堰下		B ₁
	"	8	宇奈根		B ₁
	"	9	二子橋		B ₁
	"	10	丸子橋堰下		—※
多摩川 支川	三沢川	13	新指月橋		C
	二ヶ領本川	14	旧三沢川合流		—
	"	15	徒橋		C
	二ヶ領宿河原用水	20	新船島橋		C
	平瀬川	22	中之橋		C
	"	23	平瀬橋		B ₁
鶴見川 及び 支川	谷本川(鶴見川)	24	岡上		B ₁
	"	25	恩廻橋		B ₁
	"	26	寺家橋		B ₁
	麻生川	29	中野橋		C
	矢上川	30	矢上川橋		C

※ — タイプ区分できなかったもの

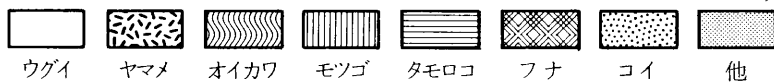
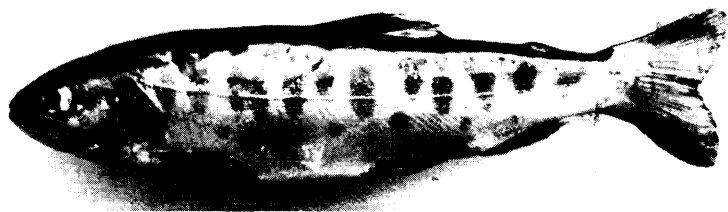


図2 地点別の魚種組成



ヤマメ



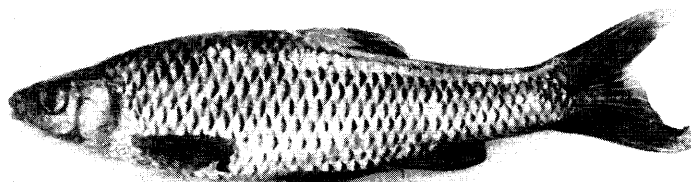
カマツカ



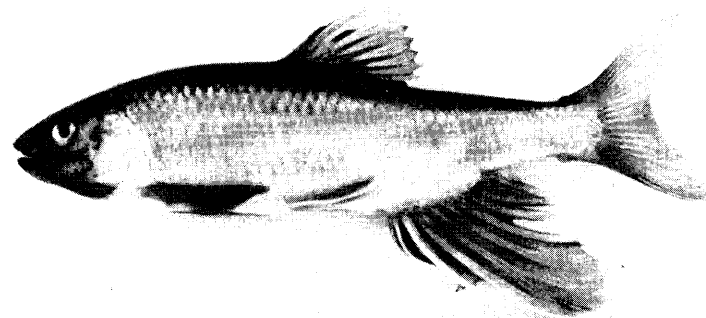
アユ



ウグイ

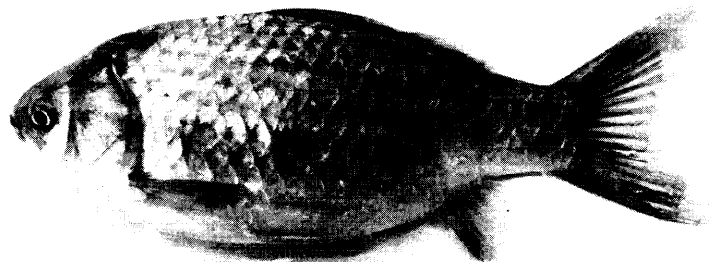


モツゴ



オイカワ

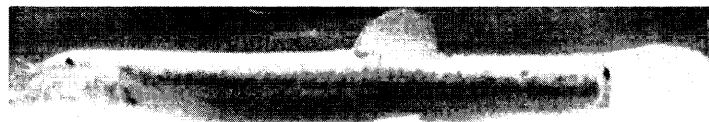
写真1 多摩川及び鶴見川水系に分布する魚類(1)



ギンブナ



コイ



ドジョウ

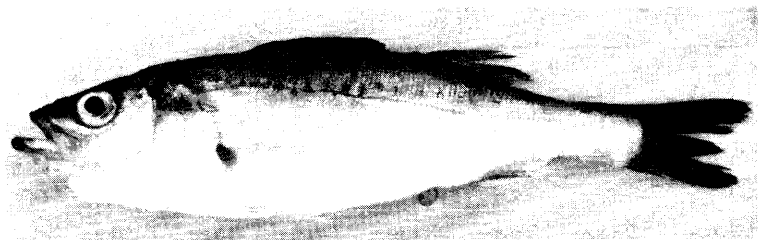


ナマズ

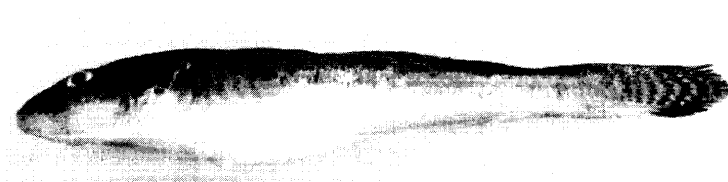


ボラ

写真2 多摩川及び鶴見川水系に分布する魚類(2)



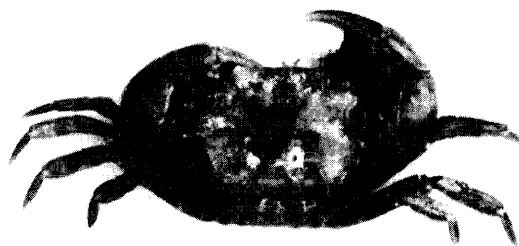
スズキ



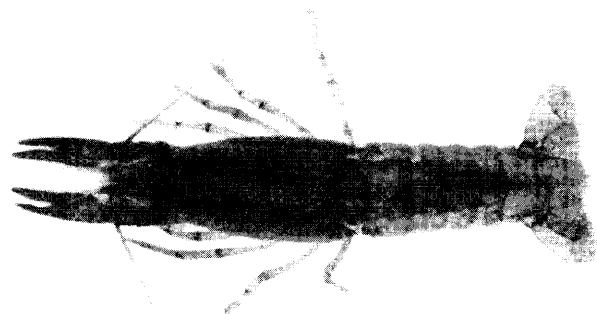
マハゼ



サッパ



ゲフサガニ



アメリカザリガニ



スジエビ

写真3 多摩川及び鶴見川水系に分布する魚類(3)

表5 魚 類 採 集 結 果

水 系	多 摩 川 本 川												多 摩 系 支 川																			
河 川 名	多 摩 川		多 摩 川		多 摩 川		多 摩 川		多 摩 川		多 摩 川		多 摩 川		多 摩 川		多 摩 川		三 沢 川		三 沢 川		二ヶ領本川		二ヶ領本川		二ヶ領本川					
地 点 番 号	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		13		14		15		16	
調 査 地 点	海 沢		調 布 橋		永 田 橋		拝 島 橋		日 野 橋		是 政 橋		上河原堰下		宇 奈 根		二 子 橋		丸子橋堰下		多摩川河口		東 橋		新 指 月 橋		三沢川合流		徒 橋		豊 年 橋	
魚種名	尾数	重量	尾数	重量	尾数	重量	尾数	重量	尾数	重量	尾数	重量	尾数	重量	尾数	重量	尾数	重量	尾数	重量	尾数	重量	尾数	重量	尾数	重量	尾数	重量	尾数	重量		
ヤ マ メ	14	255	1	75																												
ア ユ	1	53	2	76	2	177	3	145	2	157			1	18	1	18	2	62														
タ モ ロ コ							3	2	2	23	3	65	1	9																		
カ マ ツ カ																																
モ ツ ゴ									9	16	6	50	1	10			3	27	1	6			1	11			4	1				
ウ グ イ	30	530	25	313	104	1,536	2	34					1	17	1	16																
ア ブ ラ ハ ヤ					3	34																										
オ イ カ ワ							23	333	33	563	43	725	40	711	23	561	91	1,607														
ハ ス													1	168																		
キ ン ブ ナ									5	78	4	37													1	133			3	176		
ギ ン ブ ナ					1	48	6	45	7	77	15	618	3	53	3	149			6	686				3	102	8	204	45	3,059			
ゲンゴロウブナ							1	150	1	390	1	40							1	50												
キ ン ギ ョ																			1	7												
コ イ											1	260							2	189						3	106	2	210			
ニ シ キ ゴ イ																																
ド ジ ョ ウ							4	7																								
ホトケドジョウ							15	8																								
ナ マ ズ							4	1																								
メ ダ カ																										5	2					
ボ ラ																			31	610												
ス ズ キ																					6	77										
ド ン コ																					2	19										
ヨ シ ノ ボ リ																																
マ ハ ゼ																			1	0.3	49	579										
ブ ル ー ギ ル																																
ス ジ エ ビ							168	7	2	1	2	2																				
テ ナ ガ エ ビ													1	7																		
アメリカザリガニ					1	24			2	2												2	59				45	980				
ゲ フ サ ガ ニ																					21	81										
合 計	45	838	28	464	111	1,819	229	732	63	1,307	75	1,797	49	993	28	744	96	1,696	43	1,548	78	756	3	70	4	235	65	1,293	50	3,445	0	0
投網回数(有効数)	18 (11)		12 (6)		10 (10)		30 (10)		30 (10)		13 (10)		8 (8)		5 (4)		10 (10)		10 (9)		7 (7)		0		10 (1)		8 (8)		6 (6)		5 (0)	
たも網採取有無					有		有		有												たも網のみ				有							

表 5 つづき

水 系	多 摩 系 支 川														鶴 見 川 及 び 支 川														計		
河 川 名	二ヶ領本川		二ヶ領本川		五 反 田 川		二ヶ 領 宿河原用水		二ヶ 領 宿河原用水		平 瀬 川		平 瀬 川		谷 本 川 (鶴見川)		谷 本 川 (鶴見川)		谷 本 川 (鶴見川)		片 平 川		麻 生 川		麻 生 川		矢 上 川				
地 点 番 号	17		18		19		20		21		22		23		24		25		26		27		28		29		30				
調 査 地 点	円筒分水		円筒分水下流		生田大橋		新 船島橋		宿河原橋		中 之 橋		平 瀬 橋		岡 上		恩 廻 橋		寺 家 橋		仲 町 橋		金 耕 橋		中 野 橋		矢上川橋				
魚種名	尾数	重量	尾数	重量	尾数	重量	尾数	重量	尾数	重量	尾数	重量	尾数	重量	尾数	重量	尾数	重量	尾数	重量	尾数	重量	尾数	重量	尾数	重量	尾数	重量	尾数	重量(g)	
ヤ マ メ																													15	330	
ア ュ																													14	706	
タ モ ロ コ																	3	31											12	130	
カ マ ツ カ																	1	12											1	12	
モ ツ ゴ							1	9					2	5			16	173	4	32					10	38			58	378	
ウ グ イ																													163	2,446	
ア ブ ラ ハ ヤ																													3	34	
オ イ カ ワ													39	881	32	712	26	582	6	90									356	6,765	
ハ ス																													1	168	
キ ン ブ ナ							2	95			2	121	6	288			4	100							1	25			28	1,053	
ギ ン ブ ナ							10	768			7	471	1	33	1	1									1	23	1	13	118	6,350	
ゲンゴロウブナ																													4	630	
キ ン ギ ヨ													3	4															4	11	
コ イ							3	597			1	210																	12	1,572	
ニ シ キ ゴ イ															1	105													1	105	
ド ジ ヨ ウ															1	17	3	49						19	17	4	61			31	151
ホトケドジョウ																														15	8
ナ マ ズ																													4	1	
メ ダ カ											1	0.2																	6	2	
ボ ラ																													31	610	
ス ズ キ																													6	77	
ド ン コ																													2	19	
ヨ シ ノ ボ リ																									5	4			5	4	
マ ハ ゼ																													50	579	
ブル ー ギ ル																									1	2			1	2	
ス ジ エ ビ																													172	10	
テナガエビ																													1	7	
アメリカザリガニ	27	116	1	2			2	81									1	12						2	3	5	17			88	1,296
ゲフサガニ																													21	81	
合 計	27	116	1	2	0	0	18	1,550	0	0	11	802	51	1,211	35	835	54	959	10	122	0	0	21	20	27	170	1	13	1,223	25,537	
投網回数(有効数)	1 (0)		0		3 (0)		5 (3)		3 (0)		5 (3)		7 (6)		7 (6)		9 (9)		8 (3)		0		0		7 (3)		2 (1)				
たも網採取 有無	有		たも網のみ								有		有		有		有						たも網のみ		たも網のみ		有				